旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２０年８月９日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	讃美歌285「主よ御手もて」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	Ⅱ讃美歌185「丘の上に」	一　同
教会学校	絵本「十字架の道」②	牧　師
讃　　美	讃美歌187「主よいのちの」	一　同
聖書朗読	エレミヤ50:1-10	
奨　　励	エレミヤ書の福音(第45回)	牧　師
主　　題	「希望と祝福の預言」	
讃　　美	讃美歌488「はるかに仰ぎ見る」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	エレミヤ書第52章	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
８／９（日）聖日礼拝
／10（月）（山の日）
／11（火）
／12（水）
／13（木）10:00祈り会
／14（金）
／15（土）13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちも救われますように

良書ハイライト

「モノが溢れた今の暮らし」

辰巳渚著「『捨てる！』技術」（東京：宝島社，2000）p.3

捨てなきゃいけない ― これが、現代に生きている私たちにとっての至上命題だ。今の暮らしにはモノが溢れ、捨てても捨てても増え続ける。職場には書類が山積みだし、家庭では収納スペースがいくらあってもモノをしまいきれない。ただでさえ狭いスペースが、モノの増殖によってさらに狭くなり、なんとかしなきゃと思いつつモノに囲まれて暮らしているのが現状だ。内心、全部捨てたらどんなにすっきりするだろう、と思っている人も少なくないはずだ。

… かつて、モノは貴重だった。大量生産・大量消費の現代生活が始まるまで、ほんのつい最近まで、モノは使い切るまで大切にされ、そのモノの用途が終わっても別のかたちで再利用したりして、それから処分された。食品も、米粒ひとつまで残さずに食べるようにしつけられた。モノを使い切ってから捨てて、それから新しいモノを手に入れる循環がなされていた。だからこそ、〝もったいない〟が美徳だった。

しかし、今は違う。高度経済成長期には新しい電化製品が次々に現れ、〝新しい〟という理由でモノが買われていった。

… そうして、消費に慣らされた私たちは、今に至ってもモノの呪縛から逃れられなくなっている。必要だから欲しいのではなく、買うためにモノが欲しい、という消費のしかたが定着しているといえる。その結果、モノの消耗のスピードをはるかに超えてモノが増殖し、私たちの暮らしはモノで溢れるようになってしまった。どうも、モノが貴重な時代からモノが溢れる時代までの変化があまりに急すぎたらしい。私たちは〝もったいない〟という美徳の名残りと、モノの増殖という新しい事態のあいだで、困り果てている状態なのだ。